

**国内における持続可能な航空燃料  
S A F（サフ）の製造に関する  
廃食油リサイクル事業について**

**令和6年2月22日**

# 1. 航空燃料を取り巻く状況

- ▶ 日本に、とりわけ、尾花沢市や大石田町には、多くの外国人旅行者が、航空機を利用して来訪している。
- ▶ 航空機は、交通機関のなかでも、二酸化炭素の排出量が多い。
- ▶ ヨーロッパでは、環境負荷が高いことを理由に、航空機の利用を避け、鉄道を利用する風潮が高まっている。
- ▶ 国際的な流れとして、カーボンニュートラル実現のため、持続可能な航空燃料（SAF）への切替と安定確保が急務となっている。

# (参考)

## 令和5年4月～12月（9カ月間）

○総観光者数（延べ人数） **約25万人**

○外国人旅行者：宿泊者数  
（延べ人数：再掲）

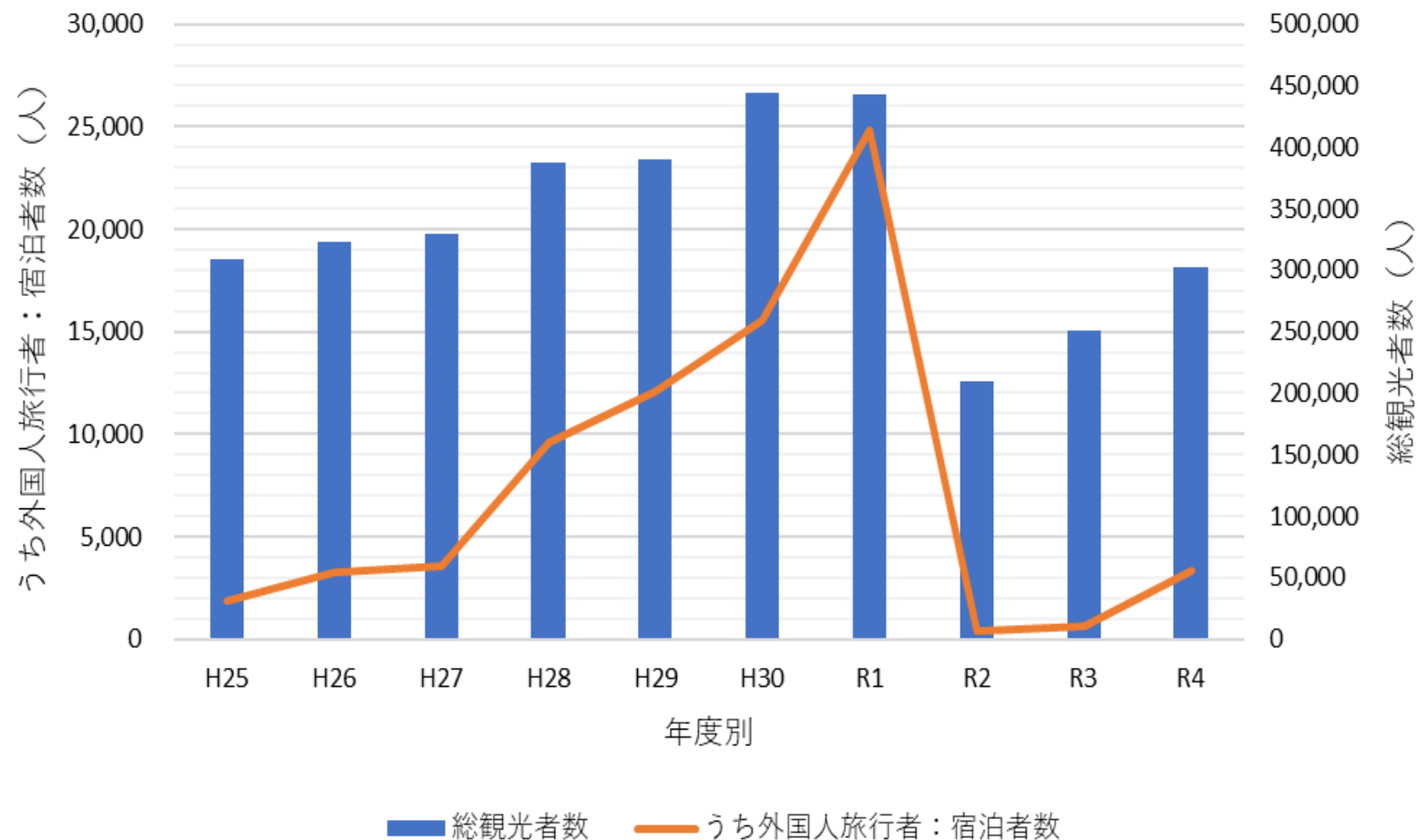
**約11,000人**

### 【国別内訳】

第1位	台湾	4,380人
第2位	香港	1,297人
第3位	アメリカ	815人
第4位	中国（香港以外）	791人
第5位	タイ	675人

（尾花沢市商工観光課より情報提供）

### 银山温泉観光者数の推移（延べ人数）

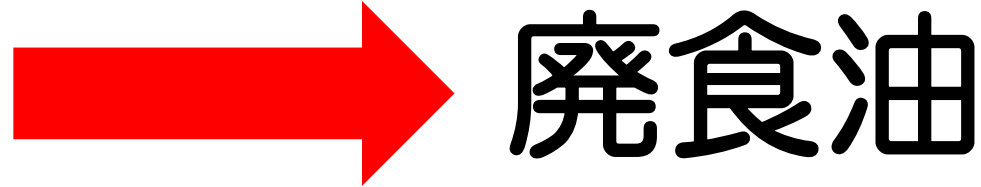


## 2. SAF（サフ）とは

- ▶ 従来のジェット燃料 ⇒ 原油から精製  
SAF ⇒ 廃食油、サトウキビ等を用いて生産
- ▶ CO<sub>2</sub>の削減効果⇒60～80%程度が期待できる  
⇒経済産業省は、2030年から10%SAF（サフ）  
混合を義務付ける方針
- ▶ 現在、SAF（サフ）は、ほとんどを海外からの輸入、  
調達費用が高いことが課題
- ▶ 国では、国際競争力のある国産SAF（サフ）の開発  
及び製造を推進

### 3. 国産S A F（サフ）の課題及び廃食油の実情

- ▶ 国産S A F（サフ）安定供給のためには、国内での原料確保が重要



- ▶ 国内における一般家庭から排出される廃食油（2021年度）
  - ⇒ 年間11万kℓ（うち、再利用1万kℓ）
  - ⇒ 残りの9割の10万kℓは**廃棄！**

## 4. 市町の一般家庭からの廃食油回収状況

### ▶ 一般家庭から排出される廃食油

⇒ 平成21年度から継続実施中

### ▶ ⇒ 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合で回収

### ▶ ⇒ 令和4年度の回収実績は、

6, 120kg (約6.7kl)

(内訳) 尾花沢市 3, 960kg (約4.3kl)

大石田町 2, 160kg (約2.4kl)

※ 回収された廃食油は、16円/kg程度で売り払い、  
燃料用等にリサイクル

## 5. S A F（サフ）の利用とインバウンドの関係

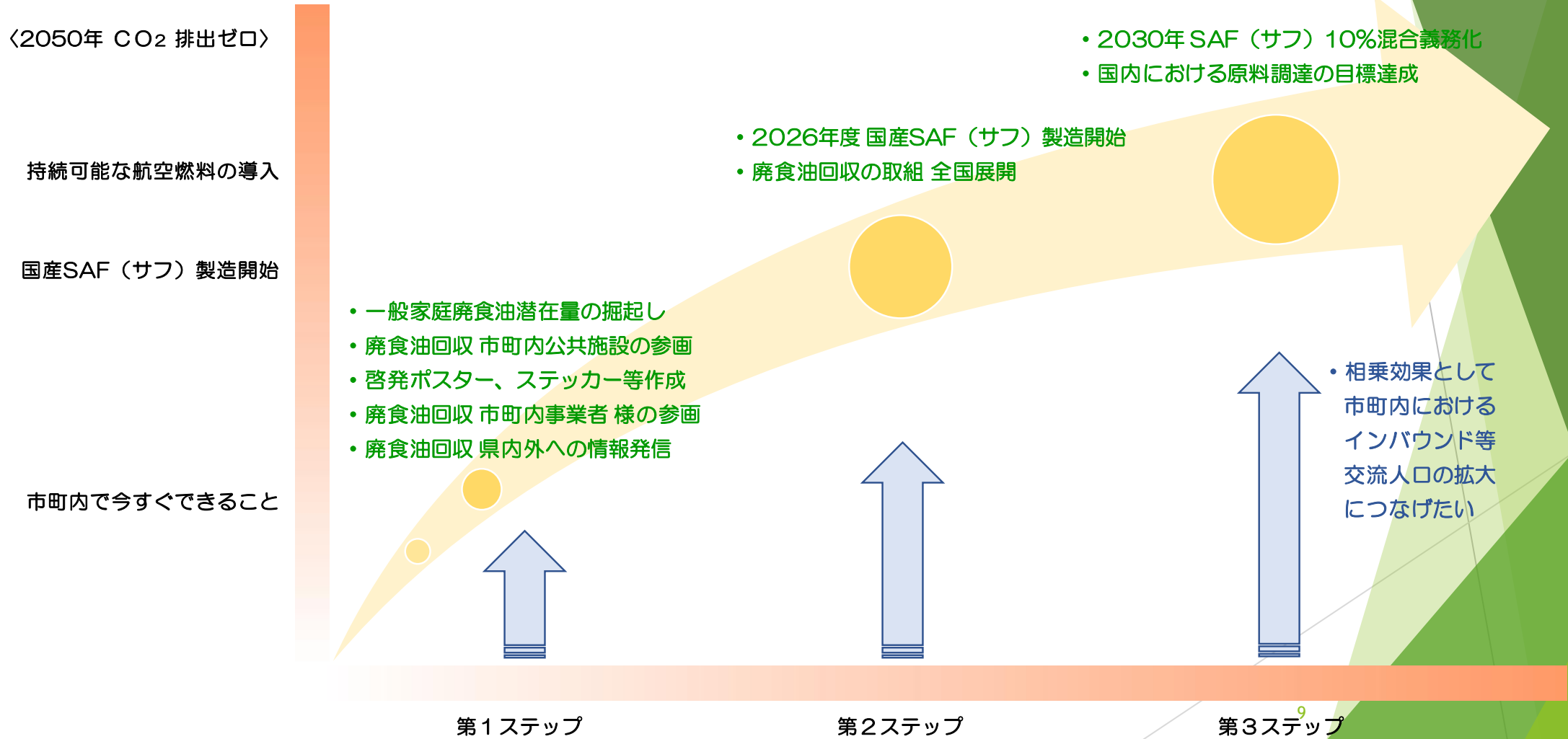
- ▶ 今後は、国際的にS A F（サフ）の需要は高まり、S A F（サフ）の奪い合いにより価格が高騰、その影響が航空運賃に転嫁される可能性がある。
- ▶ 多くのインバウンドを受け入れている、市町にとっては、無視できない問題であり、国産S A F（サフ）製造の推進に向けて、積極的に協力していく必要がある。

## 6. 国産S A F（サフ）の開発及び製造の動き

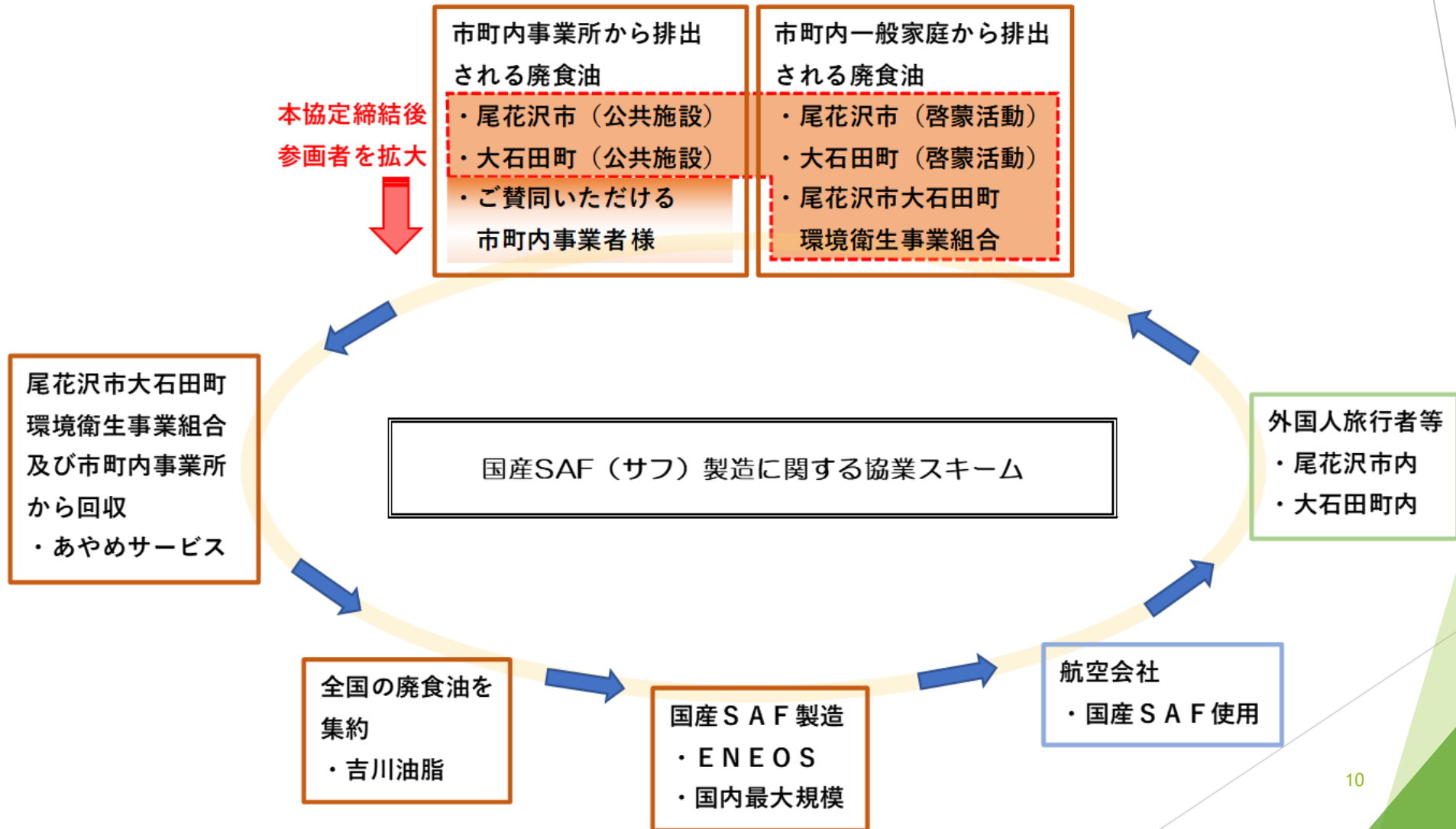
- ▶ ENEOS株式会社
- ▶ 国内最大規模40万kℓ／年
- ▶ 和歌山県に建設予定
- ▶ 2026年度 運転開始の計画



# 7. 国産SAF（サフ）製造に向けたロードマップ



# 8. 国産S A F（サフ）製造に関する協業スキーム



## 9. 今後の市町における廃食油リサイクルの方向性について

- ▶ 市町の計画に基づき、国産S A F（サフ）製造に向けた廃食油リサイクルを推進
- ▶ 一般家庭から廃食油を回収するルートは確保済のため、啓蒙活動を通じて、さらなる潜在量の掘起しを実施
- ▶ 市町公共施設の参画を図り、ご賛同いただける民間事業者等への参画拡大（啓蒙ポスターやステッカーによる認証制度など）

## 9. 今後の市町における廃食油リサイクルの方向性について

- ▶ 国産SAF（サフ）製造における協業を通じて、航空業界の課題解決に積極的に協力することにより、外国人旅行者をはじめとする、市町内における「交流人口の拡大」に結び付ける。
- ▶ 今回の取組みを県内外に発信し、さらに、全国に拡大することで、国内での原材料の安定確保につなげる。